

キトラとらい塾で土器づくりを体験しました。
今年クラフトサークルの定例会で、野焼きで焼き物してみようかと計画していましたが、勉強のためにサークル員6名で参加しました。
これ12月23日の野焼きの風景です。
古代人の見守る中実施されました。



まず乾かされた土器が並んでいます。皆さん力作ぞろいです。
ここまで公園の事務所の方やボランティアの方が1か月半ほどかけて干して下さったそうです。ありがとうございました。



11月4日にまずこんな道具で作業しました。
作業途中の写真は一生懸命で撮り損ねました。



子供も3人参加していました。上手でしたよ。





こんな素敵なのことができました。

指導は奈良教育大学名誉教授の脇田宗孝先生の丁寧な優しい指導でした。

私は作成が下手で先生に何度も形を修正していただきました。

12月23日に野焼きされるのが楽しみです。

1 2月23日少し天気が心配なスタート。でも思ったより寒くありませんでした。これは地面の水分を飛ばすために床あぶりと言って作品を置く地面を燃やしています。ここ数日雨が降っていたため鉄板も敷いて、鉄板の上で材木を燃やしています。



このように燃やした木材等を広げました。
先生が皆さんの作品を並べています。



子供も自分の作品を運んでいます。



さあ、並べたら木材を作品に当たらないように回りに並べて火をつけました。



あぶり焚きです。先生の指示で木をくべていきます。



少し土器の色が変わってきましたね。

この状態に火をつけてから床あぶりいれて約2時間



その間皆さんでボランティアの方が準備してくださったトン汁や卵焼き、高野豆腐、竈で炊いたご飯で美味しい昼食をいただきました。



ユズ大根の作り方も教えていただきました。

お手伝いしてくれた可愛い子がいました。お母さんとおじいさんと３人で参加されていました。

ご飯のおこげ美味しい(^^♪、具沢山のトン汁もおいしくいただきました。



さてそろそろ土器の色が黒くなってきたのがわかります？



そこで先生がどんどん真ん中に木材を近づけています。これを攻め焚きと言います。これを約３０分。このタイミングも先生の指導がなければ無理です。

いよいよ作品に火が近づきます。



そして最後に側に置いてあった。抜かれて干してあった作物や柴などを上からかぶせて燃やしました。練らし焚き・むらしを約30分。



そしてさまし30分



先生が熊手で灰を除いています。かなり熱そうです。



まだ熱い灰の上に板を置いて、さあ作品の取り出しです。



どんどん取りだされてきました。
不思議です。あの黒かった焼き物が白くなっています。





さあ皆さんの作品が並べられました。どれも素晴らしいですね。
作品を前に記念写真も撮りました。みんな楽しそうな顔だったと思います。



雨がぽつぽつしたりしましたが無事終わりました。
楽しかったです。でもこの野焼きは難しくて私たちクラフトサークルでの実施は無理だなという結果になりました。
また来年参加したいねと参加したメンバーと話しました
皆様も機会があれば参加してみてはいかがでしょうか？
脇田先生それから先生のお弟子さんのボランティアの方、1か月作品を管理して
乾かして下さった公園館のスタッフの皆さまありがとうございました。